

ドン・アルバロの取り次ぎによって得られた恵み

聖性の誉れのある人に、取り次ぎを願うことは、教会において一般に行われていることである。オプス・デイの列福・列聖請願事務所に寄せられた、ドン・アルバロによる取り次ぎの恵みを数例紹介する。

2006/11/04

1998年11月、偏頭痛の発作がはじまりました。それまで経験したこともない、大変な痛みでした。最初の一年間は、月に4、5回ほど起こっていましたが、次第に悪化して、月に10回も起こるようになりました。職場では就業困難とされ、一部の仕事しか任されなくなりました。

2001年の9月になると、さらに頭痛が頻繁に起こるようになりました。11月に入ると、2日毎に発作が起こるほどになり、とうとう仕事を続けられなくなりました。就業不能者としての手続きを行い、この11月には事実上、働かない状態になりました。

会社の医師と相談の上で、まったく仕事をしないことにしました。というのも、わずか2時間だけの仕事であっても、とてつもなく努力を要するからでした。頭痛が始まると処方されている薬を飲めば、少しは痛み

が軽減します。しかし、気分が悪くなるのです。

どうしたらよいのか分からず、暗中模索の状態でしたが、この11月の間に、ノベナ（九日間の祈り）をすることにしました。ドン・アルバロの私的信心カードを唱えるのです。2週間たっても、頭痛は改善されませんでした。しかし、私の2人の友人が霊的に癒されたのです。そのことに、私は大きな慰めを受け、さらに心を込めて祈るようになりました。

そして、12月12日、それはグアダルupesのマリア様の記念日でしたが、この日、3回目のノベナを終えました。そして、この日に起こった頭痛が最後のものだったのです。3年間も苦しんでいた偏頭痛が、突然、奇跡的に治ったのです。ドン・アルバロにとっても感謝しています。偏頭痛が去ってからは、私の生活は以前の通りになりました。仕事に復

帰し、旅行も読書も音楽鑑賞も、何でも楽しむことができるようになりました。

M.S. ユトレヒト（オランダ）

仕事さがし

経済学と経営学の学位を持っていましたが、なかなか仕事を見つけることができませんでした。いくつもの会社を訪ねたり、履歴書を送ったり、面接も受けたりしましたが、一向に就職できませんでした。このことを伯母に話したところ、彼女は、アルバロ・デル・ポルティーリョ司教の祈りのカードをたくさんくれました。そして、こう言ったのです。「たくさんの人に差し上げなさい。そして、あなたも信仰を持って祈りなさい」

その通りにすると、なんと、すぐに友人からの電話がかかってきたのです。その友人の知人が、信頼できる

管理の仕事のできる人を緊急で探しているというのです。私はすぐに紹介してもらい、面接を受けました。一週間後にはもうその職場で仕事に就いていたのです。仕事はとてもうまく行っています。ドン・アルバロの取り次ぎであったことは間違いありません。今、私は、機会あるごとに、この恵みについて人々に話しています。もちろん、今も、ドン・アルバロに祈り続けていますし、望んでいた願いをかなえてくださり、素晴らしい仕事を与えてくださった神様に心から感謝しています。

L.G.P. マラカイボ（ベネズエラ）

pdf | から自動的に生成されるドキュメント
<https://opusdei.org/ja-jp/article/don-arubaronogu-rici-giniyotsutede-raretahui-mi/> (2026/02/08)